

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 7 月号

1. らっきょう漬け方WEB講習会

6月2日、福部らっきょう漬け方講師の会の香川会長とJ A鳥取いなば福部支店の加武田さんが、J A全農とっとりが開いたらっきょうの漬け方WEB講習会の講師を務めた。例年は全国各地で講習会を開き好評だったが、本年はコロナ禍のため同J A湖山本店でのリモート開催となった。

講習会では、東京の生活協同組合コープみらいの参加者24人に特産らっきょうのおいしい食べ方を伝えた。



2. J A 役員・J A 女性会委員との懇談会

J A鳥取いなば女性会は6月16日、同J A本店でJ A常勤役員と懇談会を開き、J A事業の取り組みについて意見を交わした。

女性会からは、各支店や子会社の接客対応やJ A自己改革の取り組みについて意見をいただいた。また、営農指導などの専門知識を持つJ A職員育成の要望があった。

同J Aの影井組合長は「日々の女性会の活動に感謝している。いただいた意見を真摯に受け止め、



各事業の活性化に向け力一杯取り組みたい」と応えた。

3. 第26回J A鳥取いなば女性会大会・家の光大会

J A鳥取いなば女性会は6月26日、「第26回女性会大会・家の光大会」を同J A本店で開いた。家の光3誌を活用した仲間づくりの積極的な取り組みや国連の持続可能な開発目標（SDGs）の実践に取り組むことを確認した。

体験発表では、同女性会郡家支部の平尾さんが介護支援専門員（ケアマネージャー）の経験や「家の光」記事を活用したブレスレット作りなどの体験学習を踏まえ、「コロナ禍でできないことを嘆くより、できる活動をみんなで考えること」の大切さを訴えた。



各事業の活性化に向け力一杯取り組みたい」と応えた。

4. 大黒なす美出荷査定会

J A鳥取いなば大黒なす美生産部は6月28日、千両ナス「大黒なす美」の出荷査定会を同J A湖山集出荷施設で開いた。

生産者、J A担当者ら17人が参加し、生育状況や市場情勢を確認した。また、形や色・ツヤ、大きさなどを確認し、見栄えをそろえるための詰め方などを指導した。

同J Aでは、13人が25アールで栽培し、令和3年度は出荷量約15トンを計画している。



以上